

●●●新議長・副議長の紹介●●●



議長
もりおか 辰巳

三原市八幡町垣内
昭和62年初当選 65歳
旧 三原市議会議員 5期
◎平成16年 旧三原市議会
議長
◎平成11年 旧三原市議会
選出監査委員
◎三原市議会産業交通委
員会など委員長を歴任



副議長
うめもと ひであき
梅本 秀明

三原市本郷町本郷
平成6年初当選 61歳
旧 本郷町議会議員 3期
◎平成14年 旧本郷町議会
議長
◎総務常任委員会など委
員長を歴任
◎給与改革特別委員会な
ど副委員長を歴任

●●●各委員会の行政調査報告●●●

総務文教委員会



7月14日、旭川市を訪問。「市民参加推進条例」の成り立ちと現状・課題などの説明を受け、市民と行政の協働のあり方・ルールづくりについて調査。また「大雪クリスタルホール」（博物館・会議場・音楽堂の複合施設）を視察し、管理運営の方法などを調査した。

15日には、苫小牧市を訪問。「女性センター」「文化交流センター」を視察し、それぞれの施設について、管理や事業の実態などの調査を行った。

本市における各施設の事業計画、また「新・文化会館」の管理運営を検討する上で、視察の成果を生かしたい。

地域経済委員会



7月14日、岩手県盛岡市を訪問。「産業支援センター」の説明・見学を通し、市民と行政の協働によるまちづくりに大きな役割を果たしているNPOについて、理解を深めることができた。また「情報化基本計画・盛岡版」を調査し、ケーブルテレビにおいて、合併後の情報格差が生じており、本市同様大きな課題であると再認識した。

15日は、秋田県横手市を訪問。市民との直接対話をまちづくりに生かす手法の一つとして「市民地域会議」「商い活性化事業」について調査した。これらのアイデアを参考に、本市のまちづくりに生かしていきたい。

福祉環境委員会



7月7日、訪問した小樽市の「地域福祉ネットワーク事業」は、町内会を始め地域行政関係者などに呼びかけ、ネットワーク活動事業の知識を深め、必要性を認識するところからスタートした。高齢者のニーズ調査を実施し、全市に広報する目的でリーフレットを作成、配付しており、この事業には高齢者との信頼関係や、町内会を始めとする住民の理解と支援が不可欠と感じた。

8日、江別市では、災害時の避難勧告・指示情報をシンプルで分かり易く伝えることを最重点とし、NHK札幌局とインターネット専用回線で結びテレビ・ラジオ放送を通じて住民に迅速に伝達するシステムを導入しており、本市においても、検討する必要があると感じた。

建設都市委員会



新生三原市のまちづくりに向け、7月5日に山形市を訪れた。山形駅周辺整備事業は既存の都市部と西側新都心がつながり、山形駅東西の一体的で魅力的なまちづくりが行われ、「歴史と文化と緑の環」をめざして進められていた。

6日は鶴岡市を訪れた。鶴岡西部の土地区画整理事業は「地区計画制度」が導入され、景観作りに配慮されており、モニュメント、石造チェアなどを多数配置した「芸術のあるまちづくり」が整備されていた。

住民と行政が一体化したルールづくりの必要性和、開発設計に際し、数十年・数百年を見据えたコンセプトでデザインすることの重要性を痛感した。

常任委員会

	総務文教委員会	地域経済委員会	福祉環境委員会	建設都市委員会
委員長	登木 敏之	松島 幹雄	中重 伸夫	瀬戸 義弘
副委員長	谷口佳寿子	池田 健一	谷杉 義隆	陶 範昭
委員	高木 武子	小柴 茂樹	池田 元	加村 博志
委員	松浦 良一	白須 均	山下 栄一	中村 芳雄
委員	桧山 幸三	梅本 秀明	高下 正則	真嶋 智
委員	川口 裕司	分野 達見	岡崎 敏彦	中西 正信
委員	宮谷 利三	堀 正登	下西 勝彦	村上 徹郎
委員	岡本 純祥	力田 忠七	寺田 元子	小西 真人
委員	七川 義明	守岡 辰巳	仁ノ岡 範之	七川 松美
委員	森重 一裕			

議会運営委員会

委員長	真嶋 智
副委員長	堀 正登
委員	
松浦 良一	山下 栄一
桧山 幸三	岡崎 敏彦
谷杉 義隆	下西 勝彦
中重 伸夫	力田 忠七
中西 正信	七川 松美